



ニュージャージー 補習授業校通信

土曜日は日本の教育を

子供同士の議論が深まる対面授業

十月二十二日、一日七時間の対面授業を実施しているニュージャージー日本人学校へ視察にいきました。

学校では先生も児童・生徒もマスクを着用します。また学校に入る時には検温していま



した。

上の写真は六年生の算数の授業です。立体の体積の求め方について、意見を出し合っているところですよ。それぞれの求め方を発表し、立式や、工夫した点などについて話し合っていました。

全員マスクを着けて授業を行います。机の間隔も余裕をもたせていました。窓を開けて換気をしていて、感染予防が徹底していると思えました。

また、タブレットを使った授業も見学しましたが、コンピュータなどの情報機器を使った先進的な取り組みに感心しました。

視察後、どのように対面授業を行っているか情報交換もさせていただきました。

本校が来年度対面授業を行う場合の、ヒントとなる多くの事を学ぶことができました。

感染リスクが高まる場面

日本では十月二十三日に「新型コロナウイルス感染症対策分科会」が年末の飲食について、感染リスクが高まる5つの場面を発表しました。①飲食を伴う懇親会等、②大人数や長時間におよぶ飲食、③マスクなしでの会話、④狭い空間での共同生活、⑤居場所の切り替わり（仕事場と休憩室など）。米国でも感染率がまた高まってきています。常にマスクを着用するように注意していきましょう。

国際学級は日本の詩を音読

国際学級では日本の詩の音読をテーマに授業を続けています。

1) 音読プリント read out loud HW 10/31

秋になると
果物はなにかも忘れてしまつて
うっとり実のつてゆくらしい

果物

八木重吉

Jukichi Yagi (1898-1927) was a Japanese poet who worked on the theme of modern religion.

詩の読み取りは、分かりやすいように、一部英語で説明をしています。十二月には音読の発表会を開く予定です。詩を学ぶことで、日本語だけでなく、日本の文化や風習、情緒なども味わうことができる授業だと思えました。

第二十二号
令和二年
十一月十三日
発行